

スリランカ共和国



北部州酪農開発プロジェクト

プロジェクトの背景

スリランカ国内で生産される生乳は国内需要の40パーセントに過ぎず、多くを輸入に頼っていることから、生産性の向上が優先課題となっています。中でも紛争の影響を受けた北部州の、特に貧困層の小規模農家にとって、総所得に占める畜産業の割合は高い状況です。一方で、酪農家の多くは僻地に点在し、小規模で粗放的な酪農を行うため乳量と品質が低く、また集乳環境にも課題があり、生乳買取価格は安価となっています。加えて、州内の公的機関では獣医・畜産技術者が不足し、僻地の酪農家は適切な指導を受けられない状況にあります。本プロジェクトでは、同州5県において、獣医・畜産技術者の能力向上を図り、政府サービスが行き届かない地域への効果的な酪農技術普及を推進しています。対象地域の酪農家が獣医・畜産技術指導を受けやすくなり、生産性が改善されることで、地域の酪農業発展と農家の生計向上に寄与することが期待されています。



図1 スリランカ共和国位置図



図2 農村地域の集乳所の様子

業務概要

本プロジェクトは JICA 技術協力プロジェクトであり、(株) オリエンタルコンサルタンツグローバルが業務実施契約のもとで業務を実施しているものです。実施期間は2019年2月～2024年9月の5年6か月間で、現在は活動の締め括りとエンドライン調査による成果の取りまとめを行っています。本業務では、以下の活動を通じて、パイロットサイトの乳生産の改善を目指しています。

1. パイロットサイトの畜産技術者（LDIs）に対する研修の実施
2. LDIs の効果的な普及手法を通じた、酪農家への酪農適正技術の導入
3. 乳業会社との協働による乳衛生技術の導入・適用
4. パイロットサイトで開発された研修プログラムおよび普及手法の北部州全体への紹介



図 3 畜産技術者に対する現場 OJT



図 4 農家グループに対する技術研修会

インターンシップ研修内容

以下のタスクに携わることで、技術協力プロジェクトや、開発コンサルタントの業務内容についての理解を深めてもらうことを想定しています。また、本プロジェクト以外の業務についても、研修の進捗状況を考慮した上で、従事していただく可能性があります。

1. スリランカおよび途上国における技術協力プロジェクトについて
2. 飼料栽培、飼養管理技術、営農改善等の途上国における農業・畜産関連技術
3. プロジェクト終了に当たってのエンドライン調査結果の分析と課題・教訓の抽出
4. JICA との業務実施契約に基づく提出書類作成と精算業務
5. 今後の展開に向けた JICA および先方政府への提案

対象者

農業・農業開発分野でのコンサルタント業務を志望する者で、英語での業務に抵抗のない学部3年もしくは修士1年

実施期間

7月下旬から8月下旬の2週間（要相談）

募集人数

1名